

## 岡山県中学校体育連盟 60年の歩み(沿革史)

日 付	出 来 事
昭和24年11月	岡山県中学校体育連盟を発足させる。
30年 7月	全国中学校体育連盟が発足される。
8月	岡山県中学校体育連盟規約を改正する。(評議員会設置, 調査研究部新設, 内規制定)
31年 2月	第1回全日本中学校放送陸上競技大会が開催される。
5月	第1回岡山県中学校体育連盟総会を開催する。
10月	県中体連マーク制定, 相撲部が加わり15専門部となる
32年 2月	全国中学校体育連盟へ加盟する。
5月	優秀選手の表彰を始める。
7月	学徒の対外競技について文部省通達, 岡山県体育協会へ加盟する。
33年 8月	岡山県中学校体操できる。
34年 5月	岡山県中学校体操改正, 同レコードが完成する。
6月	副理事長制を設ける。
10月	第1回岡山県中学校陸上競技選手権が開催される。
12月	中国中学校体育連盟へ加盟する。
35年 7月	ダンス部新設する。
36年 6月	第1回保健体育講習会を開催する。
8月	文部省「学徒の対外運動競技の基準」通達される。
10月	第1回全国中学生水泳教室大会が開催され, 木原美知子が参加する。
37年 5月	岡山県中学校体育連盟支部長制発足する。
8月	岡山県中学校体育実技書編集する。
10月	第1回中国中学校陸上競技教室が山口県で開催される。
10月	第14回全国中学校体育連盟理事長会を岡山市で開催する。
38年 4月	第17回岡山国体。岡山市内の中学生1,200人がマスゲーム「岡山のかおり」披露。
8月	スキー部を新設する。
39年 2月	第1回岡山県中学校総合体育大会を開催する。
4月	第1回岡山県スポーツ少年大会を開催する。
41年 4月	スポーツテストを実施する。
42年 6月	岡山県中学校教育研究会保健体育部会発足する。
43年10月	バドミントン部新設する。
44年 5月	岡山県中学校総合体育大会参加料を1人40円とする。
8月	明治100年記念岡山県スポーツ祭で岡山市内中学生がマスゲームを披露する。
12月	バレーボール競技9人制と6人制の併用にて開催する。
45年 3月	第1回中国中学校剣道大会を岡山市で開催する。
4月	文部省通達, 中学生の全国大会参加が認められる。
6月	青少年運動競技岡山県連絡協議会を発足する。
8月	岡山市隣接町村合併にともないブロックを再編成する。
46年 6月	スポーツ安全協会障害保険制度発足される。
8月	全国中学生大会始まる。(体操, サッカー, 柔道, ジュニア陸上など。46年からバドミントン, 道, ホッケー, バスケットボール)
47年 8月	岡山県中学校体育連盟実技書採択研究委員会を設置する。
8月	全国大会優勝[剣道:西大寺, 体操:加茂, 軟式庭球:瀬戸]
48年 1月	学制施行100年・岡山県中学校体育連盟創立20周年記念第10回岡山県中学校総合体育大会の開会式にて役員特別表彰をする。
	全国大会優勝[陸上競技:走幅跳 木村研二(岡大附), 軟式庭球:瀬戸]
	対外運動競技に対する「特殊勤務手当」制度発足。
	岡山県中学校体育連盟規約改正する。(役員任期2年, 常任理事制・地区制になる)

日 付	出 来 事
49年 8月	香山進介（岡輝）50mバタフライ日本中学校新記録樹立する。（28秒4）
10月	第12回岡山県中学校総合体育大会を今年度から10月に開催する。
50年 3月	岡山県立豊学校の加盟申請される。
51年 8月	全国大会優勝〔陸上競技：走高跳 山本寿徳（久米南）2m03日本中学校新記録樹立， 体操：小野田博之（加茂）〕
9月	地区割・地区再編成検討委員会をもつが地区割りは現状のままに決定
11月	総体検討委員会で選手のマナーについて検討し，会長名で各校に注意文書を配布する。
52年 5月	岡山県中学校体育連盟努力目標を設定する。「持久力・柔軟性・筋力の養成」
8月	第1回中国中学校ソフトボール大会を岡山市で開催する。
10月	山本寿徳（久米南）が走り高跳びで2m04の日本中学校新記録を樹立する。
53年 7月	岡山県保体ノートの作成を決定。
8月	全国大会優勝〔剣道：西大寺〕
54年 1月	駅伝競争大会を県総合グラウンドで開催する。
4月	文部省「児童・生徒の運動競技についての基準」改正通知。
5月	岡山県中学校体育連盟努力目標を設定する。「体格・体力の向上・増進とスポーツ選手のマナーの徹底」
8月	第1回中国中学校野球選手権大会が山口県で開催される。 全国大会優勝〔剣道：高松， 体操：女子跳馬 門田滋子（山陽女子）〕 第1回全国中学校野球選手権大会が横浜市で開催される。
55年 2月	岡山県中学校体育連盟創立30周年記念式典を開催する。
4月	54年4月の文部事務次官通知を受け，17種目が教育活動内の全国大会となる。
8月	中国大会の名称を55年度より中国中学校選手権大会と統一する。 第1回中国中学校バドミントン選手権大会を岡山市で開催する。
56年 2月	第1回中国中学校スキー選手権大会が大山スキー場において開催される。（主管 岡山県 中学校体育連盟）
5月	全国中体連より第13回全国中学校選抜剣道大会の開催依頼がある。
57年 5月	昭和59年度より全国大会のブロック持ち回りとし，全国中学校選抜競技大会と総称することが決定する。
10月	第13回全国中学校選抜剣道大会岡山県準備委員会を発足させる。
58年 5月	第13回全国中学校選抜剣道大会岡山県実行委員会を発足させる。
8月	第13回全国中学校選抜剣道大会を岡山市で開催する。 男子 優勝：吉備中，第3位：芳泉中 女子 準優勝：津山東中 全国大会優勝〔水泳：400M 山本雅彦（福浜），卓球：就実，剣道：吉備〕
59年 1月	全国中学校体育連盟創立30周年記念式典が行われる。 第1回全国中学校体育連盟研究大会が東京都で開催される。
7月	県中体連地区割検討委員会を開くが何も決まらなかった。
8月	全国大会優勝〔陸上競技：走幅跳 岩崎和子（就実）〕
60年 5月	中国中学校体育連盟の事務局となる。（昭和60～61年度）
8月	岡山県中学校体操の改定を行いビデオに収め各支部に有料で配る。 全国大会優勝〔陸上競技：女子三種A 久枝 光（芳泉）〕
61年 3月	中国中体連理事会で昭和64年度全国中学校選抜競技大会の各県開催種目を決定する。 岡山県では水泳・サッカー・軟式野球と決定した。
62年 4月	昭和64年度全国中学校選抜競技大会岡山県開催種目の会場地が決定する。 水泳：倉敷市，サッカー：美作町，軟式野球：岡山市
5月	全国中学校選抜競技大会を全国中学校選抜体育大会と改称された。
7月	昭和64年度全国中学校選抜体育大会準備小委員会を設置した。
8月	全国大会優勝〔陸上競技：110MH 藤原哲郎（灘崎）14秒25 大会〕

日 付	出 来 事
1 1 月	昭和 6 4 年度全国中学校選抜体育大会岡山県中学校推進委員会を設置した。
6 3 年 5 月	昭和 6 4 年度全国中学校選抜体育大会岡山県準備委員会を設立した。
6 月	昭和 6 4 年度全国中学校選抜体育大会岡山市・倉敷市準備委員会をそれぞれ設立した。
7 月	昭和 6 4 年度全国中学校選抜体育大会美作町準備委員会を設立した。
8 月	岡山県中学校総合体育大会（兼選手権）を 7 月下旬に中国・全国大会の予選を兼ねて行う。 全国大会優勝〔水泳：200Mバフライ 中山正吾（多津美），400Mメドレー 中山茂樹（多津美）， 卓球：好勝 山陽女子 亵 片岡範江（山陽女子）〕
1 0 月	昭和 6 4 年度全国中学校選抜体育大会 3 種目のリハーサル大会を実施する。 水泳：1 0 月 サッカー：3 月 軟式野球：3 月
平成 元年 4 月	平成元年度全国中学校選抜体育大会岡山県実行委員会を設立した。 平成元年度全国中学校選抜体育大会岡山市・倉敷市・美作町実行委員会をそれぞれ設立した。
8 月	平成元年度全国中学校選抜体育大会第 1 1 回全国中学校軟式野球大会を開催した。 平成元年度全国中学校選抜体育大会第 2 9 回全国中学校選抜水泳大会を開催した。 平成元年度全国中学校選抜体育大会第 2 0 回全国中学校サッカー大会を開催した。
2 年 2 月	岡山県中学校体育連盟創立 4 0 周年記念式典を行う。
4 月	岡山県中学校体育連盟内規に第 7 章 旅費を追加
8 月	全国大会優勝〔柔道：好勝 78kg級 牧野貴仁（笠岡東）〕
1 2 月	平成 3 年度以降の秋季大会を新人戦とすることに決定。（開催時期 1 1 月の第 2 日・月・第 3 日曜，支部代表制をとらない。ただし平成 3 年度のみ支部代表制，平成 4 年度より地区代表制をとる。）
3 年 4 月	岡山県学校体育研究連合会の事務局を受ける。（平成 3・4 年度）
5 月	岡山県中学校体育連盟規約第 7 条を改正し副理事長 2 名とする。 第 2 0 条を評議員会は評議員の過半数で成立し，議事は出席評議員の 3 分の 2 以上の賛成をもって決定するに改正する。
8 月	総体参加料を一人 3 0 0 円にする。 全国大会優勝〔軟式庭球：好勝 原田浩二・西田惣一（石井）〕
1 0 月	地区割り検討委員会を設け，検討した。4 教育事務所単位で岡山県下を 4 地区に分ける案を臨時評議員会に提案するが否決される。 朝鮮初中級学校の中体連加盟の要望書を受理し検討する。（加盟については引き続き検討する。全国大会につながらない大会への参加は条件付で認める。）
4 年 5 月	負担金の値上げ 4 年計画可決される。（平成 7 年度まで） 岡山県中学校体育連盟規約第 6 条専門部の（9）軟式庭球がソフトテニスに名称変更。
8 月	第 3 0 回記念総体ということで中央開会式において功労者表彰を行う。
1 1 月	岡山県中学校体育連盟内規第 7 章 旅費の一部見直しを行う。 臨時評議員会において，4 教育事務所を基本とした 4 地区制を提案し可決される。それに伴って規約を改正する。
5 年 5 月	岡山県中学校体育連盟内規第 7 章 旅費の一部見直しを行う。
8 月	全国大会優勝〔陸上競技：好勝 AB 香月伸洋（連島南）〕
1 2 月	第 1 回全国中学校駅伝大会が熊本市で開催される。第 5 区 区間賞 奥山典秋（邑久）
6 年 5 月	岡山県中学校体育連盟規約 1 9 条を改正し，定例総会は毎年 3 月上旬までに行うことに決定した。
8 月	全国大会優勝〔陸上競技：好勝 A 木幡理朗（福浜）〕
7 年 1 月	第 1 1 回（財）日本中学校体育連盟研究大会開催を中国ブロックで受け，第 4 分科会を岡山県で運営する。
3 月	（財）日本中体連評議員会で平成 1 3 年全国中学校体育大会を中国ブロックでの開催承認。
5 月	中国中学校体育連盟の事務局を受ける。（平成 7・8 年度）

日 付	出 来 事
7月	平成10年度全国学校体育研究大会の準備会を発足させる。
8月	全国大会優勝 [水泳：男子400mメドレーリレー 御南, 卓球：好脚 就実]
8年 1月	第12回(財)日本中学校体育連盟研究大会において岡山県が第1分科会のパネラーを務める。
2月	中国中体連理事会で平成13年度全国中学校体育大会の各県開催種目を決定する。岡山県ではサッカー・軟式野球・ソフトボールと決定した。
3月	岡山県中学校体育連盟規約20条を廃止し、理事会が連盟の意志決定機関であるとともに執行機関となる。(評議員制度の廃止)
4月	外国人学校生徒の全国大会参加が認められる。
5月	部活動保険を導入する。
6月	高梁上房支部と川上支部が統合する
	平成10年度全国学校体育研究大会岡山県準備委員会を設置する。
8月	全国大会優勝 [陸上競技：男子種A 筒井裕哉(新田)]
9年 5月	岡山県学校体育研究連合会の事務局を受ける。(平成9・10年度)負担金の値上げ5年計画可決される。(平成14年度まで)
5月	平成10年度全国学校体育研究大会岡山県実行委員会を設置する。
8月	第35回総体の中央開会式と種目別開会式において功労者表彰を行う。全国大会優勝 [陸上競技：好脚 武田頌子(総社東)]
10年 2月	平成13年度全国中学校体育大会岡山県開催種目の会場地が決定する。サッカー：岡山市, 軟式野球：倉敷市, ソフトボール：高梁市 新見市
5月	岡山県中学校秋季体育大会を11月第1日・月曜日開催に決定する。(平成11年度より)
8月	全国大会優勝 [バドミントン：男子 連島]
11月	第37回全国学校体育研究大会を岡山市・倉敷市で開催する。
11年 5月	全国中学校体育大会で外部コーチのベンチ入りが認められている競技を対象に県内大会における外部コーチのベンチ入りを認める。岡山県中学校体育連盟競技力強化本部を設置した。
11月	平成13年度全国中学校体育大会岡山県中学校推進委員会を設置した。
12年 2月	全国大会優勝 [フィギュアスケート：高橋大輔(連島)]
3月	岡山県中学校体育連盟創立50周年記念式を開催する。
5月	全国中学校体育大会の岡山県実行委員会設立。
6月	岡山市実行委員会設立(6/27)・高梁市実行委員会設立(6/28)新見市実行委員会設立(6/29)
7月	倉敷市実行委員会設立(7/24)
8月	全国大会優勝 [水泳：男子100mバタフライ 杵本宗太郎(桑田) 男子400mメドレーリレー 桑田]
13年 2月	全国大会優勝 [フィギュアスケート：高橋大輔(連島)]
4月	岡山県中学校体育連盟規約第4章第7条の副理事長2名を若干名に改正する。岡山県中学校体育連盟内規第1章に「第6条 規約第7条の副理事長若干名とは2名以内とする。」を追加。
8月	全国中学校体育大会(中国ブロック)の開催。第32回全国中学校サッカー大会の開催(8/19~24)第23回全国中学校軟式野球大会の開催(8/21~24)第23回全国中学校ソフトボール大会の開催(8/18~21)
11月	岡山県中学校体育連盟新規専門部加盟基準を制定。
14年 3月	岡山県中学校運動部の合同チーム編成に係る規程を制定。
5月	テニス部が準加盟専門部となる。総体運営検討委員会を開設し、大会運営について検討する。
7月	日本中学校体育連盟研究大会岡山大会の実行委員会を設置。
8月	全国大会優勝 水泳：女子800m自由泳 橋本結衣(上道)

日 付	出 来 事
1 1 月	<p>軟式野球：宇野中学校            体操：個人種目別跳馬 伊久梨乃（山陽女子）            ソフトテニス：女子個人 杉本 瞳・大庭彩加（就実）            バドミントン：男子個人シングルス 佐伯祐行（連島）</p> <p>岡山県中学校秋季体育大会に新たにテニス競技が加わる。            岡山県中学校運動部の合同チーム編成に係る規程を一部改正。</p>
1 5 年 5 月	<p>調査研究部を中心とし、研究推進校を指定し、教科指導に関する研究を推進する。            研究指定校 岡山市立光南台中学校            岡山市立吉備中学校</p> <p>総体参加料を一人500円にする。            大会競技役員（引率以外）の旅費支給額を変更し            開催地区競技役員 一人1日1,000円            開催地区以外 一人1日2,000円</p>
8 月	<p>岡山県学校体育研究連合会の事務局を受ける。（平成15・16年度）</p> <p>全国大会優勝 体操：女子種目別跳馬 寺坂亜由美（山陽女子）            ソフトテニス：女子団体 就実 女子個人 福田 慶・岩田淳子（就実）            柔道：男子個人60Kg級 石本克泰（津山西）</p>
1 6 年 1 月 4 月	<p>第20回記念財団法人日本中学校体育連盟研究大会を岡山市で開催する。            岡山県中学校総合体育大会及び岡山県中学校秋季体育大会引率細則を施行する。            研究指定校 岡山市立吉備中学校            倉敷市立玉島東中学校</p> <p>大会競技役員（引率以外）の旅費支給額を変更し            開催支部競技役員 一人1日1,000円            開催支部以外（片道40km未満） 一人1日2,000円            開催支部以外（片道40km以上） 一人1日3,000円</p>
8 月	<p>全国大会優勝 水泳：女子200m・400m自由形 小林美希（操山）            体操：女子個人種目別床 寺坂亜由美（山陽女子）</p>
1 7 年 1 月 5 月	<p>第21回財団法人日本中学校体育連盟研究大会において岡山県が第1分科会のパネラーを務める。</p> <p>テニス部が正式加盟となる            中国中学校体育連盟の事務局を受ける。            研究指定校 倉敷市立玉島東中学校            高梁市立成羽中学校</p>
8 月	<p>全国大会優勝 体操：女子個人種目別床 西平晴菜（山陽女子）            ソフトテニス：女子団体 就実 女子個人 弓野加佳・佐藤那帆（就実）            ソフトボール：男子 新見第一</p>
1 0 月	<p>第60回国民体育大会「晴れの国おかやま国体」の開催。            第5回全国障害者スポーツ大会「輝いて岡山大会」の開催。</p>
1 1 月	<p>岡山県中学校体育連盟内規を改正し「第2条 規約第7条の理事若干名を各支部8校に1名とする。」「第3条 規約第7条の常任理事若干名を備前西3名、備前東2名、備南東2名、備南西2名、備北2名、美作2名とする。」</p>
1 8 年 2 月 5 月	<p>全国中学校体育大会において過去最多の上位入賞数30を記録した。            市町村合併に伴う地区再編成により岡山県中学校体育連盟内規第1章第1条を改正し、6地区14支部に再編する。            内規第1条を改正し6地区14支部になり、地区代表制へ移行する。            研究指定校 高梁市立成羽中学校            和気町立和気中学校</p>

日 付	出 来 事
8 月	<p>総体運営検討委員会での協議を受け、大会規模の適正化を実施した。            全国大会優勝 ソフトテニス：女子団体 就実（2連覇）</p>
9 月	<p>平成22年度全国中学校体育大会岡山県関係競技種目会場地検討委員会を開催する。            岡山県教育委員会教育長名で倉敷市長・岡山市教育委員会委員長へ開催受諾を依頼する。</p>
10 月	<p>岡山市より教育長名によりソフトテニス競技及びバレーボール競技の開催受諾の旨回答。            倉敷市より市長名により軟式野球競技及びバドミントン競技の開催受諾の旨回答。</p>
11 月	<p>岡山県中学校体育連盟個人情報保護方針を策定する。</p>
19 年 4 月	<p>岡山県中学校体育連盟個人情報保護規定を施行する。</p>
5 月	<p>総体運営検討委員会を組織運営検討委員会に改称し、中体連組織全体の運営に関する課題を協議する。            研究指定校 和気町立和気中学校            井原市立高屋中学校</p>
7 月	<p>平成22年度全国中学校体育大会岡山県開催に係る第1回連絡調整会議を開催する。</p>
8 月	<p>平成20年度全国中学校体育大会へ視察員を派遣(8/18~25)            全国大会優勝 ソフトテニス：女子団体 就実（3連覇）            男子個人 原 幹生・能口拓磨（藤田）</p>
12 月	<p>平成22年度全国中学校体育大会岡山県関係競技種目日程検討委員会を開催する。</p>
20 年 2 月	<p>全国大会優勝 フィギュアスケート：女子個人B部門 小松原美里（京山）            平成22年度全国中学校体育大会岡山県開催に係る第1回連絡調整会議を開催する。            和気中学校において研究指定校の発表会が行われる。</p>
3 月	<p>岡山県中学校体育連盟規約第6章第28条の負担金及び納入期日を毎年第1回理事会において定める旨改訂。            岡山県中学校体育連盟規約第7章を競技会とし予選会の方法及び開催期日等についての申し合わせ事項を規約に明記した。</p>
5 月	<p>岡山県中学校体育連盟規約第8章を雑則とした。            責任賠償保険（大会保険）を導入する。            岡山県中学校体育連盟「実務の手引き」（事務担当者必携）を作成する。            予算委員会を設置する。</p>
8 月	<p>研究指定校 井原市立高屋中学校            奈義町立奈義中学校</p> <p>全国大会優勝 ソフトテニス：女子団体 就実（4連覇）            陸上競技：女子4種競技 高橋緋奈（吉備）</p>
11 月	<p>岡山県中学校体育連盟内規第3章を用語の定義とする。第4章を共催・後援行事等の承認とする。</p>
21 年 2 月	<p>高屋中学校において研究指定校の発表会が行われる。</p>
5 月	<p>リスクマネジメント委員会が設置される。            岡山県中学校体育連盟ホームページを開設する            研究指定校 奈義町立奈義中学校            玉野市立宇野中学校</p>
6 月	<p>新型インフルエンザへの対応のため臨時会（常任理事会・専門部研究部理事長会、理事会）を開催する。            平成22年度全国中学校体育大会の岡山県実行委員会設立。            平成22年度全国中学校体育大会の岡山県実行委員会第1回常任委員会を開催する。</p>
7 月	<p>平成22年度全国中学校体育大会の岡山県中学校推進委員会設置。            岡山市実行委員会設立(6/30)</p>
7 月	<p>倉敷市実行委員会設立(7/1)            平成22年度全国中学校体育大会の岡山県実行委員会第2回常任委員会を開催する。</p>

日 付	出 来 事
8 月	全国大会優勝 陸上競技：女子110mH・走幅跳 森岡美紅（上道） 体操：男子個人総合 堀野真志（倉敷西） ソフトテニス：女子個人 中野愛美・下田夢奈（就実） 男子団体 岡山理大附属
1 1 月	奈義中学校において岡山県中学校教育研究会保健体育部会と共催で研究発表会を開催する。
2 2 年 1 月	平成 2 2 年度全国中学校体育大会の岡山県実行委員会第 3 回常任委員会を開催する。
2 月	平成 2 2 年度全国中学校体育大会の倉敷市実行委員会第 1 回常任委員会を開催する。 冬季種目の入賞数が 4 となり、全国中学校体育大会において平成 1 7 年度を上回り過去最多 の上位入賞数 3 2 を記録した。
3 月	平成 2 2 年度全国中学校体育大会の岡山市実行委員会第 1 回常任委員会を開催する。 岡山県中学校体育連盟設立 6 0 周年記念式典を挙げる。

## 岡山県中体連旗制定の由来

本連盟では、中体連旗制定の必要を早くから痛感していたが、連盟結成以来、種々の条件に左右されてなかなか実現の運びに至らなかった。然し昭和31年4月遂に決意して、県下在住の中学生を対象として公募した。

趣意は、「岡山県中学校体育スポーツの興隆と連盟の団結を表わすもの」というにあった。応募 4 3 点中より厳重審査の結果、当時苫田郡香々美中学校 3 年在学の田淵隆三君の作品を当選と確定した。本記念誌表紙のマークが即ちそれで、団結を意味し、右上にこれを画く意味は、スポーツの興隆を表わし、また地色の海老茶は、中学生の澁淵たる意気を示したものである。昭和31年9月以降各種大会に本中体連旗を掲揚して今日に至っている。

「会報 3 0 周年記念号 昭和 5 6 年 7 月 1 日発刊」より